

防災GIS



災害マネジメントサイクルとGISソリューション



予防準備期

発災後は、人や時間や情報などの様々な資源が限定的になるため、平常時である予防・準備期にどれだけ準備を行っておくかが災害対策の勝敗を決定します。

初動応急期

実際に災害が発生した場合、迅速な被害状況把握と対応が必要です。GISを活用した被害状況の推定・把握のために情報を可視化することができます。

復旧復興期

復旧段階には、被災者生活再建支援、災害発生後から復旧に向けた計画策定や、復旧状況の集約・モニタリング、インフラ情報の集約での活用が可能です。

お任せください!

様々な用途での活用が可能です。導入事例は裏面をご覧ください。

ArcGIS の活用事例

予防・準備期

— 住民向けの注意喚起や、防災・減災活動 —

□3Dハザードマップ

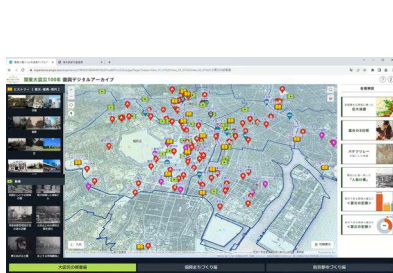


荒川下流河川事務所 様



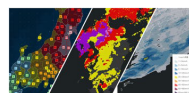
岡谷市 様

□デジタルアーカイブ



復興デジタルアーカイブ
東京都 様

□災害発生前後に 役立つ 配信データ



気象オンライン
サービス
(ゲヒルン版)



ライフライン情報
オンライン
サービス



人流データ
オンライン
サービス



道路交通
オンライン
サービス



住宅地図
オンライン
サービス

初動・応急期

— 災害現場や避難所との共有 —

□災害現場状況把握



防災科学技術研究所 様

□災害情報共有（庁内・避難所・被災現場・住民間）



相模原市 様



日野市 様



□山地災害調査



林野庁 様

□被災建築物に対する応急危険度判定



全国の自治体様（国立研究開発法人建築研究所様 監修）



復旧・復興期

— 生活再建や復旧・復興計画の策定 —

□被災者生活再建支援



全国の自治体様
(東日本電信電話株式会社様 サービス提供)

□令和6年能登半島地震における災害対応支援情報



被災状況マップ、復旧支援の歩みマップ（読売新聞社 様）



□被災前後の差分抽出



□復興シナリオの作成

